

第01回 井川 治

- 講演者: 井川 治 氏 (京都工芸繊維大学)
- 題目: compact対称三対の標準形とその応用
- 日時: 2020年 9月 18日 (Fri) 16:30 ~ 17:30
- 場所: Zoom(オンライン開催)

seminar, 2020

abstract

++++ 案内(PDF) | [Download a001.pdf](#) +++++

compact対称空間の理論において極大平坦全測地的部分多様体(以下, 簡単に極大トーラス)は中心的な役割を果たす. 極大トーラスの重要な性質は,

- (i) 任意の二つの極大トーラスは互いに合同であり,
- (ii) compact対称空間へのイソトロピー群の作用が極大トーラスを切断とする超極作用 (線形代数学における対角化可能に相当するRiemann幾何的な概念) となることである.

この性質を利用してcompact対称空間へのイソトロピー群の作用 (以下, 簡単にイソトロピー作用) に関しては多くの研究結果がある. Hermann作用はcompact対称空間へのイソトロピー作用の一般化であり, 超極性という良い性質を引き継いでいる. しかしながらHermann作用はイソトロピー作用より複雑なため, その詳しい性質を調べることは困難を伴う. Hermann作用は, compact対称三対と呼ばれるcompact連結Lie群とその上の二つの対合から構成されるcompact対称三対の全体には非自明な同値関係が定義され, 互いに同値なcompact対称三対は本質的に同じHermann作用を定める. そこでcompact対称三対の各同値類の中から「最も簡単な代表元」が選べればHermann作用の詳しい性質を調べる際に役立つと期待される. 本セミナーの目的は, 問題をLie環レベルで定式化し, 定式化された問題に解答を与えることである.

この研究は馬場蔵人 (東京理科大学) との共同研究である.

共催: 東京理科大学幾何学セミナー

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2020/01>

Last update: **2021/02/11 09:47**

